

みずほCustomer Desk Report 2022/06/17号 (As of 2022/06/16)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	134.31
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	134.05	1.0457	140.40	1.2176	0.7017
SYD-NY High	134.68	1.0601	140.60	1.2405	0.7069
SYD-NY Low	131.49	1.0381	137.88	1.2042	0.6943
NY 5:00 PM	132.15	1.0553	139.40	1.2352	0.7046

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	29,927.07	▲ 741.46	日本2年債	▲0.0800%	▲0.0200%
NASDAQ	10,646.10	▲ 453.06	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,666.77	▲ 123.22	米国2年債	3.0975%	▲0.1100%
日経平均	26,431.20	105.04	米国5年債	3.2843%	▲0.0874%
TOPIX	1,867.81	11.88	米国10年債	3.1943%	▲0.0954%
シカゴ日経先物	25,665.00	▲ 905.00	独10年債	1.7000%	0.0510%
ロンドンFT	7,044.98	▲ 228.43	英10年債	2.5145%	0.0515%
DAX	13,038.49	▲ 446.80	豪10年債	4.1180%	▲0.0040%
ハンセン指数	20,845.43	▲ 462.78	USDJPY 1M Vol	15.84%	1.53%
上海総合	3,285.38	▲ 20.02	USDJPY 3M Vol	13.96%	0.98%
NY金	1,849.90	30.30	USDJPY 6M Vol	12.87%	0.70%
WTI	117.59	2.28	USDJPY 1M 25RR	▲1.87%	Yen Call Over
CRB指数	317.17	2.37	EURJPY 3M Vol	14.39%	0.88%
ドルインデックス	103.63	▲ 1.53	EURJPY 6M Vol	13.38%	0.51%

東京	東京時間のドル円は134.05レベルでオープン。アジア株の堅調な動きからクロス円の買いに支えられて午前のドル円はじり高で推移し134.68まで上昇するも、翌日発表される日銀金融政策決定会合の結果への警戒感もあって上値重く推移し、134.22レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、134.22レベルでオープン。朝方こそ134.64まで上昇するも、欧州株安の中で次第に円高が進み一時132.32まで売られ132.84レベルでNYに渡った。朝方スイス中銀が予想外に0.5%利上げしスイスフランが大きく買われた動きにリスク回避通貨として円も連れ高となった。ポンドドルは、1.2147レベルでオープン。昼過ぎに英中銀が予想通り0.25%利上げを発表すると1.2042まで下落したが、イベント消化で程なく値を戻し1.2138レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は134.68まで戻す局面もあったものの、リセッション懸念から米株先物と欧州株が大幅に下落する動きを受け、円買いが優勢となり、一時132.32まで反落し、132.84レベルでNYオープン。朝方は米5月住宅着工件数、6月フィラデルフィア連銀景況指数が予想を下回り、新規失業保険申請件数は予想を上回ったことでドル売りとなり、132.49まで下落。その後は昨日FOMC後に低下後、海外市場では上昇していた米金利が、株式市場の大幅安からか低下に転じる展開にドル売りも優勢となり、131.49まで下落する。午後はユーロドルが上昇する動きもあり、ドル円は上値の重い推移が暫く続くが、軟調な米金利が更に低下する動きを受け、大幅に下落していた株式市場が下げ渋る展開にドル円は132.27まで戻し、132.15レベルでクロスした。一方、ユーロドルは株安を受けたユーロ円の売りに上値を抑えられ、1.0387でNYオープン。朝方は一連の米経済指標が弱かったことから米金利が低下する展開に、ユーロドルはじりじりと上昇し、海外市場で付けた高値1.0508を抜け、1.0573まで上昇する。午後に入りカール・ラウベック総裁が債券スプレッドに制限かける計画だと閣僚に説明とのヘッドラインを受けユーロ買いが更に強まり、1.0601まで戻す。その後は利益確定の売りが持ち込まれたことから反落し、1.0553でクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・西

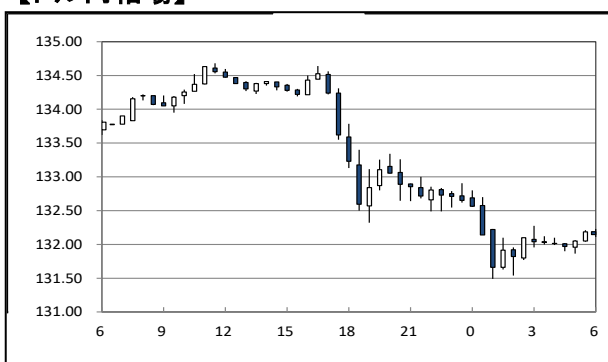
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月16日	08:50	日 貿易収支	5月 -¥2384.7b	-¥2040.4b
	16:30	瑞 スイス国立銀行 要求払預金金利	16-Jun -0.25%	-0.75%
	20:00	英 イングランド銀行 政策金利	16-Jun 1.25%	1.25%
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	5月 1549k/1695k	1693k/1778k
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	6月 -3.3	5.0
	21:30	米 新規失業保険申請件数	11-Jun 229k	217k

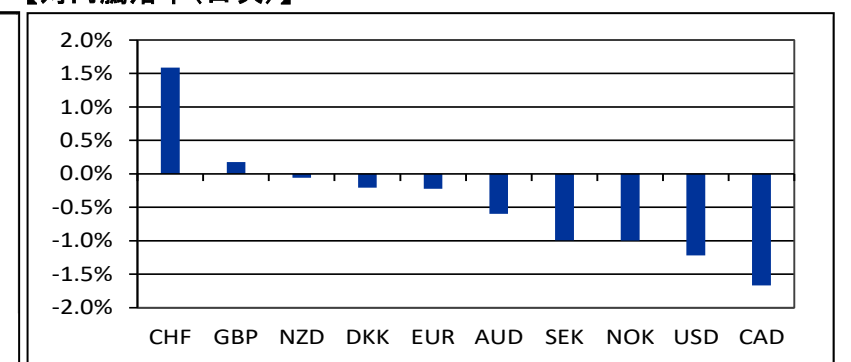
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月17日	日	日銀 金融政策会合	17-Jun -0.10%	-0.10%
	15:30	日 黒田日銀総裁 会見	-	-
	17:30	英 テンレイロBOE委員 講演	-	-
	18:00	欧 CPI(前年比/前月比)・確報	5月 8.1%/0.8%	7.4%/0.8%
	18:00	欧 コアCPI・確報	5月 3.8%	3.8%
	21:45	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	5月 0.4%	1.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	129.50-134.00	1.0450-1.0650	139.00-141.00

【マーケットインプレッション】

東京時間のドル円は134.05レベルでオープン。アジア株の堅調な推移によるクロス円の上昇からドル円は134.68まで上昇するも、その後は134円台前半での様子見の展開となった。海外時間に入り、スイス中銀が予想外に利上げを発表。金融引き締めに対するリセッション懸念からリスク資産が広範に売られると132.22まで下落。発表された米経済指標の弱い結果に、リスクオフの流れは続く、米金利の低下とともにドル円は131.49まで下押し。その後は米株が下げ渋る展開に132円台まで戻すと結局132.15レベルでクロースした。

本日のドル円は日銀政策決定会合とその後の黒田日銀総裁の発言に左右される展開を予想。昨日、マイナス金利を長く続けてきたスイス中銀が2007年ぶりのサプライズ利上げを行う中、日銀も緩和政策の修正期待が高まっている。ただ、今週火曜日には日銀の中期債買い入れオペ増額と超長期債の買い入れ対象の追加の発表しており、日銀が緩和政策継続の意思を明確にしている為、サプライズ利上げをしない可能性が高いと予想する。その為、日銀の緩和政策の修正に対する期待感から買われた円は再度売られ、ドル円は上昇する展開を基本線としたい。ただ、仮にタカ派な内容になった場合、投機筋を巻き込みながら円高に一気に進む可能性があり注意が必要。